

企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

2026

【北海道庁版】

- 企業版ふるさと納税
- 協働



CONTENTS

1 『ほっかいどう応援団会議』とは

2 企業版ふるさと納税制度の概要

3 官民連携の一層の推進に向けて

4 市町村の支援ニーズの『見える化』

5 企業版ふるさと納税の活用事例

5 交流人口・関係人口

5 総合政策部 自転車の利活用の推進

5 まちづくり

5 総合政策部 地域創生の推進

6 総合政策部 新千歳空港周辺の環境整備

6 自然・環境

6 総合政策部 水資源を未来につなぐ価値共創プロジェクト

6 環境生活部 自然環境保全の推進

7 環境生活部 動物愛護センターの運営

7 環境生活部 野生動物（ヒグマ・エゾシカ）との共存

7 経済部 ゼロカーボン北海道の実現

8 水産林務部 藻場保全の推進

8 文化・スポーツ・歴史

8 総務部 重要文化財「赤れんが庁舎」の魅力を未来へ引き継ぐプロジェクト

8 環境生活部 スポーツの振興

9 環境生活部 アイヌ文化の振興・理解促進

9 くらし・子育て・健康

9 保健福祉部 エールを北の医療へ！～未来の医療人材を育成～

9 保健福祉部 道民の健康づくりの推進

10 保健福祉部 こども・若者の支援

10 産業

10 農政部 道産食材の地産地消

10 農政部 野菜の生産振興

11 農政部 「北海道の砂糖」の消費拡大

11 農政部 畜産分野における温室効果ガスの削減

11 農政部 酪農畜産経営の体質強化

12 農政部 北海道和牛の振興への支援

12 水産林務部 木育の推進

12 水産林務部 道産水産物の海外販路拡大

13 水産林務部 コンブの生産安定化の推進

13 ICT・AI

- 13 経 済 部 ドローンの利活用促進
- 13 経 済 部 地域課題解決に向けた未来技術の活用

14 人材育成・教育

- 14 総合政策部 若者の海外への挑戦に対する支援
- 14 建 設 部 建設産業の担い手確保
- 14 教 育 庁 教育環境整備の支援
- 15 教 育 庁 教育活動の支援
- 15 教 育 庁 部活動の地域連携・地域展開
- 15 教 育 庁 道立美術館等の美術品購入

16 協働事業の活用事例

- 16 総 務 部 庁舎等道有施設等への広告掲出
- 16 総 務 部 道有財産の利活用
- 17 総 務 部 災害発生時の応急対策活動や平常時の防災活動に関する協定締結
- 17 総 務 部 北方領土問題の啓発活動へのご協力
- 17 総合政策部 道政広報へのご協力
- 18 総合政策部 科学体験イベント「サイエンスパーク」へのご協力
- 18 総合政策部 挑戦する若者の海外留学へのご協力
- 18 総合政策部 北海道遺産の普及啓発へのご協力
- 19 総合政策部 北海道新幹線のPRへのご協力
- 19 環境生活部 「北海道フロンティアキッズ育成事業」へのご支援
- 19 環境生活部 「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」へのご登録
- 20 環境生活部 エシカル消費や消費者志向経営の推進・理解促進
- 20 環境生活部 「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」へのご登録
- 20 環境生活部 「安全・安心どさんこ運動」へのご協力
- 21 環境生活部 「シルバーアドバイザーの店」へのご登録
- 21 環境生活部 ユネスコ世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPRへのご協力
- 21 環境生活部 民族共生象徴空間「ウポポイ」のPRへのご協力
- 22 保健福祉部 「どさんこ・子育て特典制度」へのご登録
- 22 保健福祉部 「ほっかいどう こどもまんなか応援サポーター」へのご参加
- 22 保健福祉部 北海道の「子どもの居場所」支援へのご協力
- 23 経 済 部 北海道観光のPRへのご協力
- 23 経 済 部 地域の魅力を活かした観光地づくり推進へのご協力
- 23 経 済 部 北海道ゼロチャレ！家計簿の活用に向けたご協力
- 24 経 済 部 北海道の立地優位性のPRへのご協力
- 24 経 済 部 「どさんこサポーターズ」へのご登録
- 24 農 政 部 愛食運動の推進へのご協力
- 25 農 政 部 「食育」や「食品ロス削減」の普及啓発へのご協力
- 25 水産林務部 「北海道グリーンワーケーション」へのご参加
- 25 水産林務部 北海道植樹の日・育樹の日条例のPRへのご協力
- 26 水産林務部 J-クレジット購入を通じた森林づくりへのご協力
- 26 水産林務部 道産水産物の魚食普及・消費拡大へのご協力

26	水産林務部	道産水産物需要拡大フェアへのご協力
27	建設部	北海道管理ダムのネーミングライツの募集
27	教育庁	企業の強みを生かした学校教育活動へのご協力
27	教育庁	子どもの体力向上に向けた取組へのご協力
28	胆振総合振興局	「いぶり五大遺産」の活用による地域活性化
28	十勝総合振興局	「オホーツク流氷トラスト運動・応援団」へのご参画とご協力

企業版ふるさと納税等を活用した取組

30	総合政策部	自転車の利活用の推進
30	石狩振興局	地域創生の推進
31	上川総合振興局	地域創生の推進
31	十勝総合振興局	地域創生の推進
32	環境生活部	動物愛護センターの運営
32	経済部	ゼロカーボン北海道の実現
33	総合政策部	若者の海外への挑戦に対する支援
34	農政部	道産農産物の消費拡大
34	水産林務部	木育の推進
35	経済部	ドローンの利活用促進
35	経済部	地域課題解決に向けた未来技術の活用

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。



『ほっかいどう応援団会議』とは

「ほっかいどう応援団会議」は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、民間の皆様知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組むことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せる方々の取組や想いを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。



資金支援

- ・ふるさと納税
- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附・協賛

協働活動

- ・包括連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施

事業活動

- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR など

応援団会議参加数（R8.3月時点）

企業・団体 1,836 団体
個人（道ファン子） 20,824 名

※個人の皆様は、「道産子」をもじって、「道ファン子」と呼んでいます



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

参加方法

参加にあたって費用負担はございません。是非ご参加ください。

企業・団体の皆様

詳細は道庁官民連携推進局へ
直接お問い合わせください!!

☎ 011-204-5158
📧 hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

- ポータルサイト等で、参加企業の皆様の応援実績などをご紹介します
- 市町村が応援を求める取組をPRする「ほっかいどう応援セミナー」を開催!

ほっかいどう応援団会議ポータルサイトはこちら



個人の皆様

下記二次元コードから簡単登録!!
是非ご登録ください!!



- 北海道の応援につながる様々な情報を発信!

公式
アカウント
はこちら



公式
アカウント
はこちら



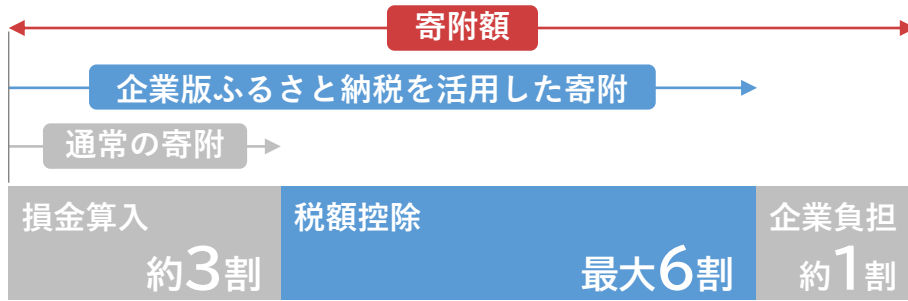
企業版ふるさと納税制度の概要

「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられることができる制度です。

企業の皆様にとっても大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、北海道の未来づくりに向けた取組をとともに進めましょう！！

POINT 01 税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



活用のチェックポイント

- 本社が所在する自治体への寄附は**対象外**
(本社が道内の企業は、道庁・所在市町村への寄附は対象外)
- 1回あたり**10万円以上**の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な見返りは**禁止**

POINT 02 「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

社会・地域貢献

- ・ SDGsの達成
- ・ ふるさと、被災地の復興等への支援 etc

事業展開

- ・ 企業のPRに
- ・ 新たなパートナーシップの構築
- ・ 社員のモチベーションアップ etc

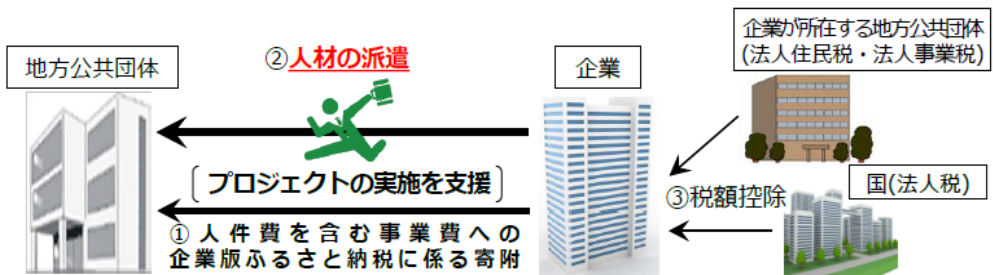
道では・・・

- 感謝状の贈呈のほか、ホームページ・啓発チラシ等で**企業名を紹介**

企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体に派遣する制度で、その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。

制度活用イメージ



企業のメリット

- ・ 人件費相当額を含む寄附額の最大約9割に税の軽減効果
- ・ 企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・ 人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・ 専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・ 人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・ 関係人口の創出・拡大



官民連携の一層の推進に向けて

官民交流サロン



企業、市町村、地域おこし協力隊の皆様が、『つながり』『気軽に交流』していただくためのスペースです

1 交流 RECEPTION



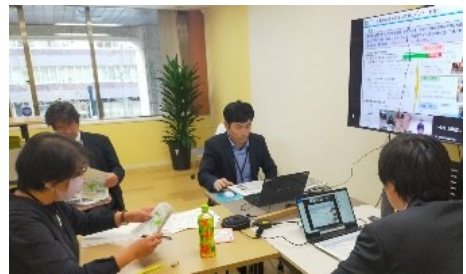
応援団会議参加企業等との交流の場として



2 マッチング MATCHING



応援を呼びかける場として



3 ミーティング MEETING



日常的な打合せの場として



4 セミナー SEMINAR



イベント会場として



コンシェルジュ



Wi-Fi
Free Wi-Fi



Free drink

訪れた方に「気軽に交流」
していただくために

- 気軽に相談できる「コンシェルジュ」機能
- 打合せやセミナーを円滑にする「Free Wi-Fi」、「Free drink」

応援団会議参加企業にもご協力いただいています！

UCHIDA

KOKUYO
コクヨ北海道販売株式会社

pokka Sapporo
北海道

Coca-Cola
～北の大地とともに～
北海道コカ・コーラボトリング株式会社

よるこびがつく世界へ
KIRIN

dōcocom Business

CROWN
OFFICE SYSTEMS

2026

Municipality Project Book



企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト 2026

- 企業版ふるさと納税
- 協働
- 遊休施設の利活用

北 北海道応援団会議

企業

の皆様と

共に

取り組む

プロジェクト 2026

企業の皆様から**応援いただきたい**
道内市町村の
様々なプロジェクトを紹介しています

分野ごとの**プロジェクト内容**はもちろん、
関連するSDGsの目標や
市町村の**問い合わせ先**も掲載

皆様からのエールが、
北海道の『**チカラ**』になります
ぜひご活用ください

SUSTAINABLE GOALS



こちらからご覧いただけます



企業版ふるさと納税の活用事例

企業の皆様から応援いただきたいプロジェクトをご紹介します。
関連するSDGsの目標やお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト

交流人口・関係人口

くらし・子育て・健康

まちづくり

産業

自然・環境

ICT・AI

文化・スポーツ・歴史

人材育成・教育

自転車の利活用の推進

【交流人口・関係人口】



取組内容

身近で多くの人が気軽に利用できる交通手段である『自転車』。安心して走れる道と、みんなで守るルールで安全に、もっと楽しく快適に自転車を利用できる北海道を目指します。交通ルールの周知や、ヘルメットの着用・損害賠償保険についての啓発、環境負荷の低減や健康増進といった自転車のメリットの発信など、安全・安心で楽しく快適な「自転車の利活用」を推進する取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部地域創生局地域政策課

問合せ先

011-204-5795

地域創生の推進

【まちづくり】



取組内容

※寄附を充当する振興局や取組はご相談ください

地域の特性を活かした個性ある地域づくりを推進するため、14（総合）振興局が、民間事業者等との連携・協働のもと、地域に根ざした政策の実施に取り組んでいます。個性豊かで活力に満ち、人々が将来にわたり安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、振興局が実施する取組へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部地域創生局地域戦略課

問合せ先

011-204-5255





取組内容

「新千歳空港」の国際拠点空港化に向け、空港所在市とともに24時間運用に関する取組を進めており、騒音等の影響を受けている周辺地域の皆様の負担軽減を図るため、生活環境等の整備などの地域振興に取り組んできました。

新千歳空港の24時間運用の円滑な推進に向け、空港と地域との共生に関する取組へのご支援をお願いします。

担当課

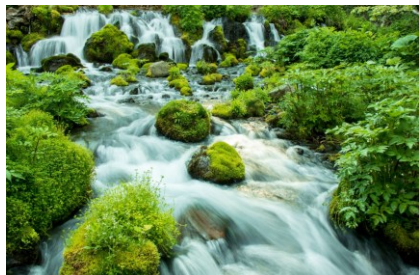
総合政策部航空港湾局航空課

問合せ先

011-204-5956

水資源を未来につなぐ価値共創プロジェクト

【自然・環境】



取組内容

北海道のかけがえのない財産である水資源を着実に未来につないでいくため、「北海道水資源の保全に関する条例」に基づき、水資源保全地域を指定し、適正な土地取引を助言しています。豊かな水資源の恵みを将来の世代においても享受できるよう、当該地域内の民有地を市町村が買い取って保全する「公有地化」に取り組む市町村へのご支援をお願いします。

担当課

総合政策部計画局土地水対策課

問合せ先

011-204-5178

自然環境保全の推進

【自然・環境】



取組内容

知床世界自然遺産をはじめとする自然公園の優れた風致景観を維持し、利用者の安全確保や適正利用を進めるとともに、希少な野生動植物の保護や外来種への対策を進めるなど生物多様性保全への取組を推進しています。

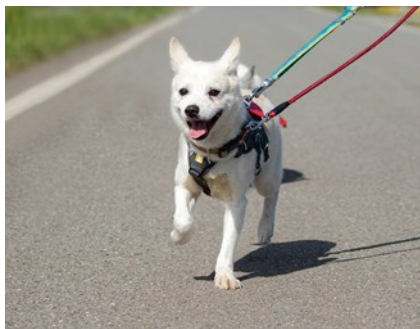
自然公園の保全管理や施設整備などの維持管理、希少野生動植物の調査や外来種防除などの取組への支援をお願いします。

担当課

環境生活部自然環境局自然環境課

問合せ先

011-204-5204・5203



取組内容

令和6年度から動物愛護センター（愛称「あいにくた」）の運営を開始しました。動物の命を尊重し、人と動物が共生して暮らせる社会のため、動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発や新しい飼い主への譲渡など、センター運営の取組へのご支援をお願いします。



担当課

環境生活部自然環境局自然環境課

問合せ先

011-204-5987

野生動物（ヒグマ・エゾシカ）との共存



取組内容

北海道の豊かな自然の象徴であるヒグマや、近年、増加が著しいエゾシカとの共存を実現するため、被害防止対策や有効活用などに取り組んでいます。

野生動物（ヒグマ・エゾシカ）の生息実態調査や共存に向けた普及啓発をはじめ、人とヒグマとのすみ分けを図るゾーニング管理の推進や安全・安心で美味しいエゾシカ肉のブランド化などの取組へのご支援をお願いします。

担当課

環境生活部自然環境局野生動物対策課

問合せ先

011-204-5988・5206

ゼロカーボン北海道の実現



取組内容

2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現を目指し、安定的かつ長期的に脱炭素化に向けた施策を展開するため、ゼロカーボン北海道推進基金を設置しています。

家庭や事業所における脱炭素化や気候変動への適応、地域が行うエネルギーの地産地消、二酸化炭素吸収源の確保などの取組へのご支援をお願いします。



担当課

経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課

問合せ先

011-206-7956



取組内容

「ゼロカーボン北海道」への貢献と、藻場・干潟の整備や保全により水産資源の成育の場を創出するなど、より環境と調和した水産業の構築を目指して、新たなCO₂の吸収源として期待される「ブルーカーボン」に関する取組の推進へのご支援をお願いします。



担当課

水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先

011-204-5471

重要文化財「赤れんが庁舎」の魅力在未来へ引き継ぐプロジェクト

【文化・スポーツ・歴史】



取組内容

北海道を代表する歴史的建造物であり観光スポットでもある北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）は、北海道命名150年を契機とした令和の大改修が終了し、令和7年7月25日にリニューアルオープンいたしました。

生まれ変わった「赤れんが庁舎」の魅力を次の世代にも引き継いでいけるよう、建物の歴史的価値の保全や展示の充実などの取組へのご支援をお願いします。



担当課

総務部イノベーション推進局財産活用課

問合せ先

011-204-5055

スポーツの振興

【文化・スポーツ・歴史】



取組内容

体力や年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりを進め、スポーツを通じて北海道を活性化するため各種施策を推進しています。

障がい者スポーツの推進や理解促進、子ども向けスポーツ教室の開催、スポーツ施設の環境の整備などに関する取組へのご支援をお願いします。



担当課

環境生活部スポーツ局スポーツ振興課

問合せ先

011-204-5209



取組内容

アイヌ文化の振興とアイヌの人たちの歴史・文化への理解促進を図るため、アイヌ文化の魅力発信や歴史・文化を学ぶ場や機会の提供などを進めており、特にアイヌ文化の保存・伝承のための伝統的な舞踊の披露や工芸品作り体験、アイヌ工芸家による技術研修など「若き担い手づくり」に取り組んでいます。

アイヌ文化の振興と理解促進の取組へのご支援をお願いします。

担当課

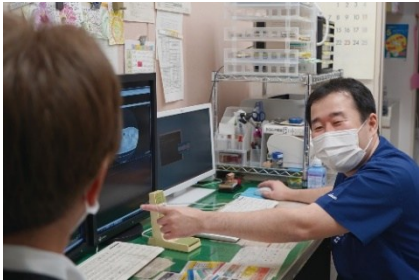
環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課

問合せ先

011-206-6024

エールを北の医療へ！～未来の医療人材を育成～

【くらし・子育て・健康】



取組内容

新型コロナの医療に従事する方々への支援を目的とした寄附「エールを北の医療へ！」を継承し、今後の地域医療に貢献する人材を確保していくため、未来を担う地域の子どもたちに医療体験の場を提供する取組を実施しています。

北海道の地域医療を守る取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部地域医療推進局地域医療課

問合せ先

011-204-5248

道民の健康づくりの推進

【くらし・子育て・健康】



取組内容

健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、生活習慣病の予防や生活に必要な機能の維持向上、健康を支え守るための環境整備など、道民の健康増進を総合的に推進しています。

健康増進に関する正しい知識の普及や健康増進事業実施者に対する技術的援助、道民一人ひとりの健康的な生活習慣の確立と楽しい健康づくりの普及啓発などの取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部健康安全局地域保健課

問合せ先

011-204-5767



北海道の「こどもまんなか」を一緒に考えていきませんか



取組内容

社会全体で子育てを支える「こどもまんなか社会」の実現に向けて、子どもたちが健やかに希望をもって成長できる環境づくりへの取組を進めています。

子どもの体験活動や遊びの機会の創出など、子どもたちの健やかな成長を支える取組へのご支援をお願いします。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

問合せ先

011-206-6309

道産食材の地産地消

【産業】



取組内容

地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消」を推進しており、毎月第3土・日曜日を「愛食の日（どんどん食べよう道産DAY）」として、道産食材の積極的な購入を働きかけるほか、輸入小麦から道産小麦への利用転換を進める「麦チェン!」、「ちぢみほうれんそう」や「伏せ込みアスパラガス」など「新顔冬野菜」の需要拡大に取り組んでいます。

地産地消の取組へのご支援をお願いします。

担当課

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

問合せ先

011-204-5432

野菜の生産振興

【産業】



取組内容

近年、気候が変動している中、道では道内で作付が拡大し、今後新たな戦略作物となる可能性のある作物として「さつまいも」の生産を振興しており、今後も北海道農業が元気に持続していけるよう、北海道の新たな戦略作物となる「さつまいも」の良質な苗の安定生産・供給、農作業の省力化、安定した集出荷体制づくりなどの取組へのご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局農産振興課

問合せ先

011-204-5436



たいせつな人に
「ありが糖」



取組内容

砂糖の原料となる「てん菜」は国内では北海道だけで栽培されており、持続的な農地利用を実現する輪作に欠かせない作物です。砂糖消費量の減少傾向が続く中、北海道のてん菜生産を維持していくため、食育活動や「北海道の砂糖」を使用した食品の学校給食への提供など、消費拡大に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課 農政部生産振興局農産振興課

問合せ先 011-206-9080



畜産分野における温室効果ガスの削減



取組内容

道内の農林水産分野における温室効果ガス排出量のうち、家畜由来の排出量の割合は高い状況にあり、畜産分野における再生可能エネルギーの導入推進や技術革新による新技術の導入等の取組が重要です。

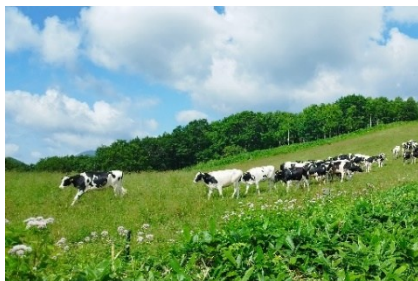
ゼロカーボン北海道の実現に資するため、畜産分野における温室効果ガスの削減に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課 農政部生産振興局畜産振興課

問合せ先 011-204-5440



酪農畜産経営の体質強化



取組内容

本道の酪農畜産業を将来にわたって維持していくため、生産と消費の両面からの対策により酪農畜産経営の体質強化が必要であり、道産飼料の生産・利用の拡大、放牧酪農の推進、乳牛改良におけるゲノミック評価の普及、国内での道産牛乳乳製品のPR、道産乳製品の輸出拡大に取り組んでいます。酪農畜産経営の体質強化に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課 農政部生産振興局畜産振興課

問合せ先 011-204-5438





取組内容

令和9年8月に国内最大の和牛の祭典である「第13回全国和牛能力共進会」が道内で初めて開催されます。大会のPRをはじめ、優秀な成績を目指して和牛の改良やブランド力の向上に取り組む生産者を応援するため、北海道の和牛振興の取組へのご支援をお願いします。

担当課

農政部生産振興局畜産振興課

問合せ先

011-204-5439



木育の推進



取組内容

北海道で生まれた「木育（もくいく）」とは、子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組であり、道では、木育を普及させる指導者である「木育マイスター」を育成し、木育活動の促進に取り組んでいます。森林づくりや木づかいへの理解を広げていけるよう、木育マイスターの活動へのご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先

011-204-5515

道産水産物の海外販路拡大



取組内容

中国による日本産水産物の輸入停止措置を受け、海外での販促プロモーションの開催など中国以外の輸出先国への販路開拓及び拡大に取り組んでいます。道産水産物の海外販路拡大に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局成長産業課

問合せ先

011-204-5465



取組内容

近年の海洋環境の変化によりコンブの生産が影響を受けていることから、環境変化に対応したコンブ漁場の保全活動を促進するため、取組の留意事項をまとめたハンドブックを作成します。コンブに好適な漁場づくりに取り組む漁業者らの知識と技術を深める取組にご支援をお願いします。

担当課

水産林務部森林海洋環境局成長産業課

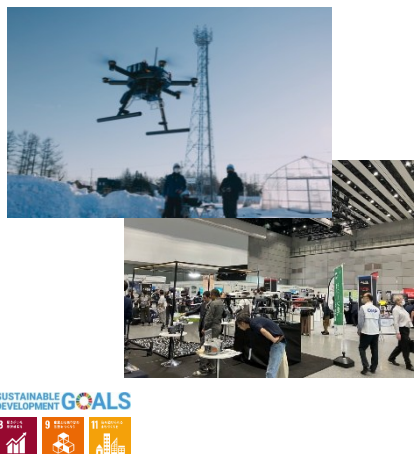
問合せ先

011-204-5469



ドローンの利活用促進

【ICT・AI】



取組内容

広大な面積を有し、人口減少下にある本道において、ドローンは地域課題の解決や利便性の向上に寄与することが期待されています。北海道ではこれまで、積雪寒冷条件下や災害対策の実証、「ドローンサミット」の開催、市町村向けのセミナー開催、ワンストップ窓口の運営など、ドローンの利活用促進に取り組んでいます。物流や防災、医療、観光、鳥獣害対策など利活用分野の更なる拡大に向け、取組へのご支援をお願いします。

担当課

経済部AI・DX推進局DX推進課

問合せ先

011-204-5172



地域課題解決に向けた未来技術の活用

【ICT・AI】



取組内容

地域課題を抱える市町村や企業と、AIをはじめとするデジタル技術を持つ企業・スタートアップ等をマッチングし、全道179市町村の地域課題解決を図る取組を実施しています。本道の多様な実証フィールドを生かし、実証・実装の促進を通じた地域課題の解決に向けて、取組へのご支援をお願いします。

担当課

経済部AI・DX推進局DX推進課

問合せ先

011-204-5172



取組内容

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」は、北海道の将来を担う若者の海外挑戦をオール北海道で応援しています。学生留学、スポーツ、文化芸術、未来の匠の4コースを設けて、選考された若者の海外留学の資金を助成しています。意欲のある若者達が未来へ挑戦するため、多くの皆様のご支援をお願いします。

担当課 総合政策部国際局国際課

問合せ先 011-204-5343

建設産業の担い手確保

取組内容

本道の建設産業は、地域の安全・安心や経済・雇用を支える重要な役割を担っていますが、就業者の高齢化や若年者の入職が進まないなど、人材確保が厳しい状況となっています。道では、「建設産業の担い手の確保及び育成」を重点課題と位置づけ、将来の担い手となる若者や子どもたちにとって、建設産業のミライが魅力あるものとなるよう取組を進めていますので、担い手の確保及び育成に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課 建設部建設政策局建設管理課

問合せ先 011-204-5810



教育環境整備の支援

取組内容

温暖化をはじめとする近年の気候変動や、AI技術の発達など、子どもたちを取り巻く教育環境の変化に対応するためには、校舎や設備等の学びの基盤を整備していく必要があります。空調設備をはじめとした教育環境改善へのご支援をお願いします。

担当課 教育庁総務政策局施設課

問合せ先 011-204-5710





取組内容

北海道の次代を担う子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさと北海道を支えるたくましい人材へと成長できるよう、指定する北海道立学校の教育活動や、全ての道立学校を対象とした留学機会の確保、商品開発や販売実習に関わる活動へのご支援をお願いします。

担当課

教育庁学校教育局高校教育課

問合せ先

011-204-5762

部活動の地域連携・地域展開

【人材育成・教育】



取組内容

少子化による生徒数の減少により、学校単位における部活動の維持が困難となっているため、中学校における部活動の地域クラブ活動への展開や地域との連携などに取り組んでいます。子どもたちが将来にわたって、スポーツや文化芸術活動に親しめる環境を整えるため、地域クラブ活動の運営などへのご支援をお願いします。

担当課

教育庁学校教育局部活動改革推進課

問合せ先

011-206-6067

道立美術館等の美術品購入

【人材育成・教育】



ティファニー
《ランプ・きばなふじ》
(北海道立近代美術館蔵)

取組内容

北海道ゆかりの作家をはじめ、国内外の貴重な作品を継続的に収集し、道立美術館等のコレクションを充実させ、魅力ある展覧会の開催や教育活動での活用のほか、若手作家の育成にもつなげています。

より多くの方に芸術文化に親しんでいただく機会の確保に向けた取組へのご支援をお願いします。

担当課

教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

問合せ先

011-204-5747

協働事業の活用事例

地域の課題解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。



庁舎等道有施設等への広告掲出

取組内容

道有施設等を有効活用し、財政の健全化と行政サービスの向上に資することを目的として、本庁舎・別館庁舎の壁面等に企業等の広告を掲出しています。

職員は本庁舎で約3,600人、別館庁舎で約1,800人おり、銀行、郵便局、コンビニ、食堂等があり、多くの来庁者の方々にもご利用いただいています。

担当課 総務部イノベーション推進局財産活用課

問合せ先 011-204-5891



道有財産の利活用

取組内容

道において使用していない土地などを活用していただける企業等を募集しています。

イベントの実施など短期間の貸付を行っています。

担当課 総務部イノベーション推進局財産活用課

問合せ先 011-204-5056



災害発生時の応急対策活動や平常時の防災活動に関する協定締結

取組内容

道内外で地震、風水害その他の大規模災害、武力攻撃事態等が発生し、又は発生のおそれがある場合に、物資の供給、災害情報の提供などの応急対策を迅速かつ的確に実施するとともに、平常時からの協力関係により防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ることなどを目的として、道と防災に関する協力協定を締結していただける企業等を募集しています。

担当課 総務部危機対策局危機対策課

問合せ先 011-206-7804



北方領土問題の啓発活動へのご協力

取組内容

北方領土問題について多くの方に知っていただくため、「啓発ポスター・ステッカーの掲示」「啓発展示会場の提供」「啓発動画や画像のデジタルサイネージ等での発信」など、幅広い啓発活動にご協力いただける企業を募集しています。

担当課 総務部北方領土対策本部

問合せ先 011-204-5069



道政広報へのご協力

取組内容

北海道価値の発信、道政広報チラシ等の設置場所の提供、道政広報動画・静止画等の放映場所の提供、企業等が発行する印刷物・資料等への道政情報の掲載、また各種広報媒体を活用したプレゼント企画への物品の提供などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部知事室広報広聴課

問合せ先 011-204-5110



科学体験イベント「サイエンスパーク」へのご協力

取組内容

北海道の未来を担う子どもたちに、科学技術に対する興味と理解を深めていただくため、科学体験イベント「サイエンスパーク」を開催しており、多くの企業等の皆様のご協力のもと、科学に関する展示や体験教室、オンラインコンテンツの公開などを毎年実施しています。

出展にご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部計画局科学技術振興課



問合せ先 011-206-6478



挑戦する若者の海外留学へのご協力

取組内容

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」は、北海道の将来を担う若者の海外挑戦をオール北海道で応援しています。学生留学、スポーツ、文化芸術、未来の匠の4コースを設けて、選考された若者の海外留学の資金を助成しています。

若者達が未来へ挑戦するため、多くの皆様の支えが必要であり、取組のPR等にご協力いただける企業を募集しています。

担当課 総合政策部国際局国際課



問合せ先 011-204-5343



北海道遺産の普及啓発へのご協力

取組内容

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。

北海道遺産は、北海道の豊かな自然、歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加により現在74件が選ばれています。NPO法人北海道遺産協議会と連携した取組やPR活動へご協力などをいただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部地域創生局地域政策課



問合せ先 011-204-5795



(写真提供：NPO法人北海道遺産協議会)



北海道新幹線のPRへのご協力

取組内容

北海道新幹線は、新青森から札幌まで約361kmに及ぶ路線です。平成28年3月26日に新青森・新函館北斗間が開業しました。北海道新幹線の利用促進及び札幌開業に向けた気運醸成のため、PRキャラクター「どこでもユキちゃん」などを活用した北海道新幹線のPR活動にご協力をいただける企業等を募集しています。

担当課 総合政策部交通政策局交通企画課

問合せ先 011-204-5164



「北海道フロンティアキッズ育成事業」へのご支援

取組内容

令和3年度より、(公財)北海道環境財団及び北海道教育庁との協働により、道内の小学生を対象にSDGsを活用した環境教育を実施しています。

本事業は協力企業・団体の皆様からの寄附金を原資として事業を行っており、事業費のご支援をいただける企業・団体を募集しています。

担当課 環境生活部環境保全局環境政策課

問合せ先 011-204-5187



「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」へのご登録

取組内容

女性、障がいのある人、性的マイノリティなど人権施策推進基本方針に掲げる12分野に関連する人権配慮の取組を行っている道内企業等を登録し、ホームページ等で取組や成果等を紹介する「北海道人権配慮企業登録・紹介制度」の登録企業等を募集しています。

担当課 環境生活部くらし安全局道民生活課

問合せ先 011-206-6148



取組内容

消費者が社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費行動を行う「エシカル消費」や、消費者との共創・協働により社会価値を向上させる「消費者志向経営」の推進や理解促進に努めており、ご支援・ご協力いただける企業等を募集しています。

担当課

環境生活部くらし安全局消費生活課



問合せ先

011-204-5212



「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」へのご登録

取組内容

運転に不安を感じる高齢者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境づくりを行うため、「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」を実施しています。65歳以上の道民の方が、協賛店舗を利用する際に、「運転経歴証明書」を提示することで、様々なサービスを受けられる制度です。独自の割引やサービス等の提供が可能な企業の登録をお待ちしています。

担当課

環境生活部くらし安全局地域安全課



問合せ先

011-204-5219



協賛店ステッカー



キャラクター「シカゾー」



「安全・安心どさんこ運動」へのご協力

取組内容

人や地域社会の絆を深めて、地域コミュニティを高めていくことによって、犯罪をなくしていく取組「安全・安心どさんこ運動」を実践し、ステッカーやどさんこバッジなどの作成支援等にご協力いただける企業等を募集しています。運動に参加していただいた企業等の取組はホームページ等で紹介させていただきます。

担当課

環境生活部くらし安全局地域安全課



問合せ先

011-206-6148



ステッカー



「シルバーアドバイザーの店」へのご登録

取組内容

交通事故死者数に占める高齢者の割合が高いことから、道では、お店を利用する高齢者の方への交通安全に関する声かけにご協力いただく「シルバーアドバイザーの店」を募集しています。ご登録いただいた店舗等には、声かけに活用いただくアドバイス事例集をお届けするほか、お店の名前を北海道のホームページに掲載させていただきます。

担当課 環境生活部くらし安全局地域安全課

問合せ先 011-204-5219



発行 北海道

ユネスコ世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPRへのご協力

取組内容

令和3年7月に、ユネスコ世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力を広く発信するため、普及啓発に関する取組への支援や共同参画、広報資材やロゴマークを活用したPR活動へのご協力などをいただける企業等を募集しています。

担当課 環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室

問合せ先 011-204-5168



未来へつづく、一万年ストーリー。

北の縄文



民族共生象徴空間「ウポポイ」のPRへのご協力

取組内容

令和2年7月、北海道白老町にアイヌ文化の復興等の拠点となるウポポイ(民族共生象徴空間)が誕生しました。ウポポイへの誘客促進や、北海道経済の活性化につなげるため、産学官民による「ウポポイ官民応援ネットワーク」を組織しており、企業の皆様にも広報ツールや商品パッケージなどでPRを行っていただいています。

担当課 環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課

問合せ先 011-206-6024



「どさんこ・子育て特典制度」へのご登録

取組内容

社会全体で子育てを応援し、子育てしやすい環境づくりを推進するため、「どさんこ・子育て特典制度」に協賛いただける企業等を募集しています。妊婦さんや子どもがいる世帯が、「どさんこ・子育て特典カード」を提示することで、特典サービスを受けられるようにする取組です。独自の割引やサービス等のご提供をしていただける企業の登録をお待ちしています。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

問合せ先

011-206-6309



「ほっかいどう こどもまんなか応援サポーター」へのご参加

取組内容

子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションする「こどもまんなか応援サポーター」として、「こどもまんなか」の取組（例：施設に授乳室をつくった、イベントに子どもを招待した等）にご協力いただける企業等のご参加をお願いします。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

問合せ先

011-206-6309



北海道の「子どもの居場所」支援へのご協力

取組内容

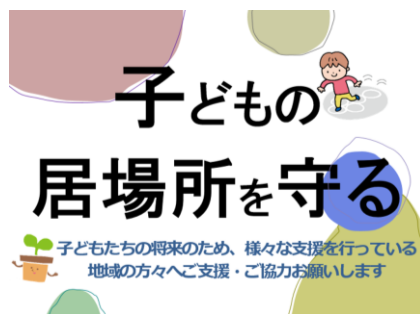
子ども食堂や子どもの学習の場などの多くは、地域のボランティアやNPO団体によって運営されており、運営費や食材等のほとんどが寄附により賄われています。皆様からの温かいご支援をぜひお寄せください。

担当課

保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課

問合せ先

011-206-6328



北海道観光のPRへのご協力

取組内容

旅するたびに新たな発見があるような観光地とするため、観光資源の磨き上げや、新たな魅力の掘り起こしなどに取り組むとともに、それらの魅力が広く伝わるよう、観光施策や道内市町村の観光のPR、外国人観光客に向けた観光情報の提供などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 経済部観光局観光振興課

問合せ先 011-206-6596



地域の魅力を活かした観光地づくり推進へのご協力

取組内容

多様化する観光客ニーズに対応し、地域の魅力を活かした観光地づくりを推進するため、観光協会等が実施する新たな商品づくり等の取組を支援し、地域のブランド力向上、観光消費額の拡大を通じ、地域経済の活性化を図ります。

担当課 経済部観光局観光振興課

問合せ先 011-204-5303



北海道ゼロチャレ！家計簿の活用に向けたご協力

取組内容

北海道は全国と比べ、家庭における温室効果ガス排出割合が高く、ご家庭での取組が重要です。このため、環境省と連携し、家庭におけるCO₂排出量等を可視化できるアプリを開発しました。ご家庭の電気やガス等の使用量を入力すると、CO₂排出量等がグラフ化され、類似世帯とのランキングも表示されます。

ユーザー拡大、継続利用促進のため、キャンペーン等での商品などの提供やPRにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課

問合せ先 011-206-7948



北海道の立地優位性のPRへのご協力

取組内容

北海道には自然災害の少なさや人材確保のしやすさに加え、恵まれた食や豊かな自然環境、豊富な再生可能エネルギーといった、立地優位性があります。

北海道への企業立地の促進に向け、北海道に関心のある企業への声かけや情報提供等のご協力をお願いします。

担当課

経済部産業振興局産業振興課

問合せ先

011-204-5324



「どさんこサポーターズ」へのご登録

取組内容

ものづくり産業の現場で工場見学や各種体験など、自ら積極的な取組を行っている企業が多数存在しています。

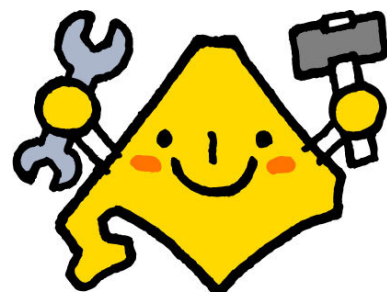
こうした社会貢献（地域経済貢献）に取り組んでいただいている企業の皆様を、ものづくり人材育成応援団「どさんこサポーターズ」として募集しています。

担当課

経済部労働政策局産業人材課

問合せ先

011-204-5357



どさんこサポーターズ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



愛食運動の推進へのご協力

取組内容

道産小麦を使用した商品を積極的に製造・販売しているお店を「麦チェーンサポーター店」（道内）として認定しているほか、道産食材にこだわった料理を提供する飲食店・宿泊施設等を「北のめぐみ愛食レストラン」（道内）、「北海道愛食大使」（道外）として認定するなど、愛食運動を推進しており、道産農畜水産物のPR活動等の協力企業等を募集しています。

担当課

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

問合せ先

011-204-5432



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「食育」や「食品ロス削減」の普及啓発へのご協力

取組内容

道民向けの「食育」及び「食品ロス削減」の普及・啓発活動などにご協力いただける企業等を募集しています。

また、食品ロスの削減につながる取組を実施する食品関連事業者を「どさんこ食べきり協力店」として登録し、北海道のホームページで公表していますので、ご登録いただける企業等を募集しています。

担当課 農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

問合せ先 011-204-5427



「北海道グリーンワーケーション」へのご参加

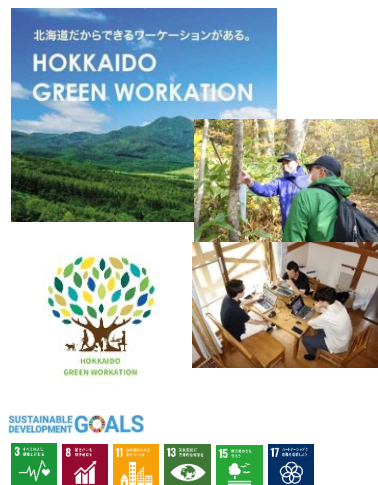
取組内容

グリーンワーケーションとは、緑豊かな森林内で余暇を楽しみながら、木の温もりあふれるワークスペースで働く森林活用型のワーケーションです。

各地域の森林体験施設やワークスペース、宿泊施設などを紹介する「北海道グリーンワーケーションガイド」や、PR動画を公開していますので、ぜひご利用ください。

担当課 水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先 011-204-5514



北海道植樹の日・育樹の日条例のPRへのご協力

取組内容

「北海道植樹の日・育樹の日条例」において、5月第2土曜日を「植樹の日」・10月第3土曜日を「育樹の日」、5月を「植樹月間」・10月を「育樹月間」と定めています。

植樹・育樹への理解を深めていただくため、ポスターの掲示、社内誌等でのPR記事掲載、植樹・育樹の日等における植樹・育樹の実践などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課

問合せ先 011-204-5514



J-クレジット購入を通じた森林づくりへのご協力

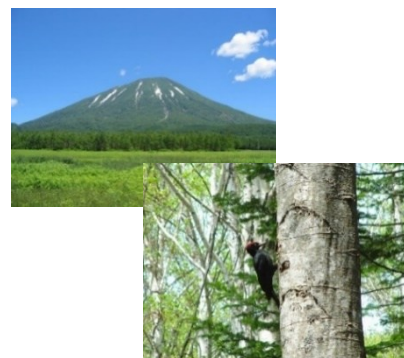
取組内容

国の制度を活用し、道有林の適切な整備・管理により創出したJ-クレジットを販売しています。

クレジットの購入を通じて、温対法・省エネ法の報告への活用のほか、カーボン・オフセットへの活用など、道有林をはじめとした北海道の森林の整備や保全活動に貢献し、百年先を見据えた森林づくりを後押しすることができます。

担当課 水産林務部森林海洋環境局道有林課

問合せ先 011-204-5519



道産水産物の魚食普及・消費拡大へのご協力

取組内容

道産水産物の魚食普及と消費拡大を進めるため、道が実施する普及啓発活動の場の提供や啓発資材の展示、料理レシピの普及、Webサイトによる周知などにご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 水産林務部森林海洋環境局成長産業課

問合せ先 011-204-5464



道産水産物需要拡大フェアへのご協力

取組内容

道産水産物の需要拡大を進めるため、マフグ・ブリ・マイワシ・ニシンのフェアを開催します。

フェアに参加する店舗のほか、Webサイト・SNSと相互フォローによる周知などにご協力いただける企業や観光情報サイト等を募集しています。

担当課 水産林務部森林海洋環境局成長産業課

問合せ先 011-204-5464



2025年10月1日(水)~31日(金)

道内の協力店にて開催! 詳細はこちらをCHECK!



北海道管理ダムのネーミングライツの募集

取組内容

令和2年度から民間資金を活用した取組として、北海道が管理するダムのネーミングライツ事業を実施しており、令和8年度も道管理ダムのネーミングライツスポンサーを募集しています。

担当課 建設部建設政策局維持管理防災課

問合せ先 011-204-5650



企業の強みを生かした学校教育活動へのご協力

取組内容

子どもたちの学びの充実を図るため、小中学校、高校、特別支援学校の児童生徒に対し、SDGsの取組や、キャリア教育、金融教育、食育など、企業等の強みを活かした出前講座の実施や企業等の施設見学等の実施にご協力いただける企業を募集しています。

担当課 教育庁総務政策局教育政策課

問合せ先 011-206-6354



子どもの体力向上に向けた取組へのご協力

取組内容

本道の児童生徒の体力状況は、全国平均より低く、生涯にわたって充実した生活を送る基盤となる体力の向上が課題です。子ども達が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、地域や学校の実態に応じた効果的な体力向上の取組を推進しており、更なる取組の充実に向け、心身・体力向上のためのイベントの開催、充実した運動機会の提供などにご協力いただける企業を募集しています。

担当課 教育庁学校教育局健康・体育課

問合せ先 011-206-6818



「いぶり五大遺産」の活用による地域活性化

取組内容

世界的な価値を有する「洞爺湖有珠山ジオパーク」・「縄文遺跡群」・「アイヌ文化」・「むかわ竜」・「炭鉄港」を「いぶり五大遺産」として、一体的に魅力を発信しています。

これらの地域資源を活用した誘客や担い手の確保など、関係人口の創出について、取組の提案をはじめとしたご協力をいただける企業等を募集しています。

担当課 胆振総合振興局地域創生部地域政策課



問合せ先 0143-24-9568



「オホーツク流氷トラスト運動・応援団」へのご参画とご協力

取組内容

地球温暖化の影響を受け、オホーツク海の大切な流氷が危機的状況にあるため、「流氷を守ろう！」を合言葉に、環境保全活動「オホーツク流氷トラスト運動」を展開してきました。

さらに令和5年10月には、地域が一体となり、持続可能な地域づくりを進めるネットワーク「オホーツク流氷トラスト応援団」を発足し、各種取組を推進しています。本応援団にご参画・ご協力いただける企業等を募集しています。

担当課 オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課



問合せ先 0152-41-0624



企業版ふるさと納税等を活用した取組

～ 企業の皆様から応援いただいた主なプロジェクトのご紹介 ～

事業概要 「安全・安心で楽しい自転車利用の推進」

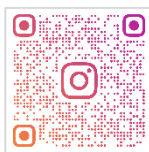
環境負荷の低減や道民の健康増進、観光の振興に資する自転車のメリットの発信や道民が自転車に親しむ体験型イベントの実施など、誰もが安全・安心に楽しく自転車を利用できるよう、取組を進めています。



サイクル体験フェア

事業成果 さらなる自転車ファンの獲得と安全教育の推進

- 自転車の持つ魅力や安全な利用などを発信するイベントの開催やパネル展の実施
- SNSを活用した各地のイベントなどの魅力発信



【公式Instagram】



■お問合せ先
 総合政策部地域創生局地域政策課
 ☎ 011-204-5795
 ✉ sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業

あいおいニッセイ同和損害保険（株）、税理士法人チェスター、日本生命保険(相)、明治安田生命保険(相) ※五十音順・敬称略

道

寄附によってもたらされた効果

自転車利用促進PRイベントにおいて、自転車保険の加入促進やヘルメット着用の周知などの取組を実施し、安全・安心で楽しく快適な自転車利用に関する認知度向上の契機となりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

道の目指す姿である「もっと、自転車北海道。」に賛同するとともに、業務分野との親近性も考慮して、寄附いたしました。自転車の利用促進に向け、官民一体となった取組に大きく期待しています。

地域創生の推進【石狩振興局】



【まちづくり】

事業概要 食と観光のブランド化推進

札幌市に集中している観光客の訪問先を周辺市町村へ波及させるため、食に関する専門的な視点から地域の現状を把握し、新たな観光資源の発掘に繋げることで、観光地域づくりに対する地元関係者の意識や知識の向上を目指します。

事業成果 食を通じた観光振興プログラムの造成

- 食と観光を一体的に発信できる観光プログラムを地域住民や市町・観光協会等と協働して選定
- 「食育・環境・SDGs」等を学べるマイクロツーリズムの商品化に向け、地域住民の生産現場を巡る収穫・学習体験



■お問合せ先
 石狩振興局産業振興部商工労働観光課
 ☎ 011-204-5830
 ✉ ishikari.shoko10@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業

(株)内田洋行 様

道

寄附によってもたらされた効果

首都圏を中心とするモニターに対して、管内の観光・食資源を学習体験を通じて、効果的にPRするとともに、改善に向けた意見等をいただきました。満足度は高く今後の旅行商品化や相互交流の促進につながりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

首都圏の方に全国の食文化に触れていただく取組を進めている中、食と言えば北海道ということで寄附をいたしました。食を通じ首都圏と北海道の相互交流が図られることを期待しています。

地域創生の推進【上川総合振興局】

【まちづくり】

事業概要 木材・家具産業の担い手確保

上川地域の重要な産業である木材・家具産業の将来の担い手確保と需要促進を図るため、教育機関と連携し、中高生を対象とした出前授業や、中高教諭等を対象としたプロモーションを実施しています。



事業成果 森林づくりや木材・家具産業の理解促進

- 「森と家具の繋がり」をテーマに、参加者の興味に合わせたバスツアーの実施
(木工体験や北の森づくり専門学院の見学など)
- 上記バスツアーで得たノウハウや人材ネットワークを市町村や教育機関と共有

寄附企業 明和地所(株)様

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先

上川総合振興局産業振興部林務課

☎ 0166-46-5999

✉ kamikawa.rinmu1@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果

森林・製材工場・家具工場が集まる旭川地域において、それらを一日で体感できるバスツアーを開催したことで、参加者の森や木への理解が深まり、地域の今後や自身の将来を考えるきっかけとなりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

家具のリユースでの収益を森や木に関係する取組に循環させたいとの思いから、寄附をさせていただきました。「木のまち旭川」の中高生等の地元産業への理解を深める機会となれば幸いです。

地域創生の推進【オホーツク総合振興局】

【まちづくり】

事業概要 農村地域の活性化や地産地消の促進

オホーツク地域の農業・農畜産物の魅力を「知る」「学ぶ」「食べる」取組を推進することにより、管内の農村地域の活性化や地産地消の促進に取り組んでいます。

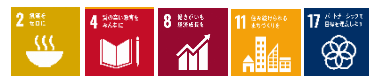


事業成果 オホーツク地域の応援者(ファン)の増加

- 首都圏の消費者を対象としたオホーツク自然体験ツアーで木育体験や農産物の試食会を実施
- 札幌市で開催したオホーツクフェア内で全店舗を巡るスタンプラリーを実施し、オホーツク地域の農業や産品をPR

寄附企業 (株)SL Creations 様

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先

オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課

☎ 0152-41-0623

✉ okhotsk.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果

木育体験やオホーツクフェアを通して道内外の方へのオホーツク地域の認知度向上とともに地域を応援するファンの増加につながりました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

オホーツク地域の食材を使用した自社の商品を販売していることもあり、地域に貢献したいとの思いから、寄附をさせていただきました。生産者の応援につながる取組が進められることを期待しています。

事業概要 人と動物が共生して暮らせる社会の実現

動物の命を尊重し、人と動物が共生して暮らせる社会を目指し、動物の愛護及び適正な飼養に関する普及啓発や新しい飼い主への譲渡等の取組を充実させるため、道央地区に道直営の動物愛護センターを開設し、令和6年度から道央、道南、道北、道東の4地区で動物愛護センターの運用を開始しています。



北海道動物愛護センター
あいにきた

事業成果 動物愛護の意識啓発やセンター開設・運営開始

動物愛護センターの運営と譲渡促進

- 動物愛護センターでの犬猫の飼育・治療
- SNSを利用した情報発信や譲渡会による譲渡の促進
- 動物愛護や適正飼育に関する普及啓発パネル展の開催

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



寄附企業 クラスメソッド(株)、(株)スマートテック、(株)トップ・マネジメント、(株)リクエストエージェンツなど
※五十音順・敬称略

■お問合せ先
環境生活部自然環境局自然環境課
☎ 011-204-5987
✉ kansei.ainikita@pref.hokkaido.lg.jp

道 寄附によってもたらされた効果等

動物愛護センターの施設整備のほか、動物の飼育管理や必要な治療、譲渡会や動物愛護イベントの開催などの取組に寄与しました。

寄附企業 寄附の経緯・取組への期待

動物の命を尊重し、人と動物が共生する社会の実現を目指すという取組に寄附しました。保護された犬猫を新しい飼い主へつなげる取組に寄附しました。

事業概要 『ゼロカーボン北海道』の推進

2050年の「ゼロカーボン北海道」の実現を目指して設置したゼロカーボン北海道推進基金を活用し、多様な主体の協働による社会システムの脱炭素化、豊富な再生可能エネルギーの最大限の活用、森林等による二酸化炭素吸収源の確保の3つの柱に基づく取組を推進しています。



**ZERO CARBON
HOKKAIDO**

事業成果 本道における脱炭素化の取組の促進

- 脱炭素化に向けた行動変容を促すイベントの開催
- 自立分散型エネルギーシステムの導入支援
- Jクレジット認証取得促進に向けた説明会の開催 など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



寄附企業

寄附企業一覧はP33をご覧ください。

■お問合せ先
経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課
☎ 011-206-7956
✉ kikou.zerocarbon@pref.hokkaido.lg.jp

道 寄附によってもたらされた効果等

道民の皆様や事業者の方々の行動変容の促進や地域における再生可能エネルギーの導入など、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取組が進んでいます。

寄附企業 寄附の経緯・取組への期待

基金パンフレットを見て、環境と経済が好循環するゼロカーボン北海道の取組の趣旨に賛同し、寄附いたしました。地域貢献や企業PRにつながることを期待しています。

ゼロカーボン北海道の実現

寄附企業

(株)INE、(株)Agoora、アンカーテクノロジーズ(株)、(株)エイ・アール・センター、鹿島建設(株)、五洋建設(株)、(株)San&3.FC・HD、自然エンジニアリング(株)、(株)SIXINCH. ジャパン、スパークス・グループ(株)、(株)大和証券、(株)D&Dホールディングス、東急不動産ホールディングス(株)、東急不動産リート・マネジメント(株)、戸田建設(株)、(株)奈良機械製作所、日本生命保険(相)、日本ハム(株)、日本郵船(株)、野村アセットマネジメント(株)、野村興産(株)、(株)パワーエックス、阪急交通社(株)、(株)ビックボイス、三井住友ファイナンス&リース(株)、三菱電機(株)、(株)三菱UFJ銀行、(株)ヤマダ工務店
※五十音順・敬称略

若者の海外への挑戦に対する支援

【人材育成・教育】

事業概要 ほっかいどう未来チャレンジ基金

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」は、北海道の将来を担う若者の海外挑戦をオール北海道で応援しています。学生留学、スポーツ、文化芸術、未来の匠の4コースを設けて、選考された若者の海外留学の資金を助成しています。

事業成果 未来を担うグローバル人材を育成

- これまでに61名の若者の海外留学を支援
- 留学の成果発表などを通じた地域社会への還元
- 帰国者の活躍による地域社会の活性化



海外での研修の様子（未来の匠コース）

SUSTAINABLE GOALS



寄附企業

アクサ生命保険(株)、(株)AZWAY、(株)アドアニモ、ARINA(株)、(株)アルビノ、(株)グリットウェブ、(株)経営サポートプラスアルファ、コトブキシーティング(株)、サン・中部(株)、(株)cielo azul、清水建設(株)、(株)secret place、(株)ゼロアクセル、セントラル短資(株)、第一生命保険(株)、大王製紙(株)、大成建設(株)、(株)タンタカ、(株)ナゴウェブ、日本ハム(株)、東日本電信電話(株)、(株)日立製作所、ピクテ・ジャパン(株)、(株)5core、(株)Blitz、ポート(株)、(株)マイナビ、(株)マッチングジャパン、三菱電機(株)、(株)メディアウィズ、(医)メディカルフロンティア、(株)Liam
※五十音順・敬称略

■お問合せ先

総合政策部国際局国際課

☎ 011-204-5343

📧 mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

道

寄附によってもたらされた効果等

昨年度は、学生留学分野6名・文化芸術分野3名の計9名の若者が海外に飛び立ちました。こうした留学生たちの活動などを「みらチャレ通信」として定期的に発信しています。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

地域の人材育成に貢献できることやポスターやHPに企業名を掲示することで、学生や教育機関、関連団体に社会貢献を通じた企業のPR効果を期待して寄附させていただきました。

事業概要 道産食材の地産地消を推進する

我が国の食卓を支えるお米、牛乳乳製品、砂糖の3つの食材を総称して、3白（さんぱく）と呼んでおり、その多くは北海道で生産されていますが、食の多様化、社会情勢の変化等により、需要が減少傾向にあります。そのため、道農政部の若手職員が中心となり、農業者の皆様が将来にわたって3白を生産できるよう、民間企業と連携しながら3白のPR活動に取り組んでいます。



事業成果 道産3白の認知度向上

- 3白をPRするため、オリジナルキャラクターを活用したダンスやPRグッズを作成
- 民間企業と連携し、大学や認定こども園において、3白を使用した料理の提供やオリジナルキャラクターによるPRを実施
- 北海道主催の農業関係イベントに参加し、オリジナルキャラクターによるPRを実施

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先
農政部農政課
☎ 011-204-5375
✉ nosei@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業 キリンビール(株)様

道 寄附によってもたらされた効果等

3白の地産地消の推進に向け、企業と連携しながら様々な機会を通じてPR活動を行い、道産3白の認知度向上に寄与しました。

寄附企業 寄附の経緯・取組への期待

「北海道の水で作った、北海道のビールを北海道で飲んで、北海道へ還元」という思いで、令和7年に「キリン一番搾り 北海道応援デザインパック」を道内数量限定で販売し、売上の一部を地産地消の取組に寄附しています。

木育の推進

事業概要 木育マスターの活動支援

子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組である「木育（もくいく）」を道民運動として展開するため、企業等と連携し、木育を普及させる指導者である「木育マスター」が行う活動を支援し、木育活動の促進に取り組んでいきます。

事業成果 森林づくりや道産木材利用への理解促進

- これまでに延べ39名の木育マスターや団体を支援
- 木育マスターが企画した森林づくりをはじめとした木育イベントなどの活動を促進
(全道39箇所、延べ2,679人が木育活動に参加)

寄附企業 明和地所(株)様



ツリーイング

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■お問合せ先
水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課
☎ 011-204-5515
✉ suirin.katsuyo2@pref.hokkaido.lg.jp

道 寄附によってもたらされた効果等

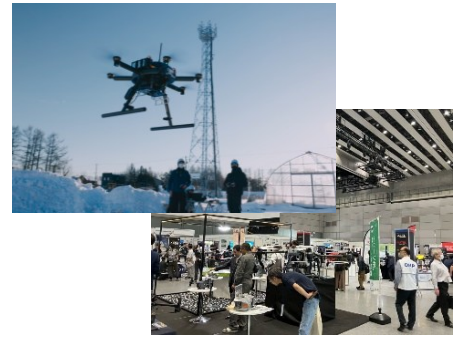
木育マスターの活動機会が増え、多くの道民の皆様にも木育を体験していただいたことで、森林づくりや道産木材の利用への理解促進につながりました。

寄附企業 寄附の経緯・取組への期待

木育の趣旨に賛同し、道内で実施される木育マスターの活動支援のため、令和2年度から道へ寄附しています。

事業概要 ドローンによる地域課題解決の推進

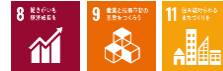
広大な面積を有し、人口減少下にある本道において、ドローンは、地域課題の解決や利便性の向上に寄与することが期待されており、ワンストップ窓口の運営や積雪寒冷条件下での実証、「ドローンサミット」の開催など、利活用の促進に取り組んでいます。物流や防災、医療、観光、鳥獣害対策など利活用分野の更なる拡大に向け、取り組んでいきます。



事業成果 様々な分野におけるドローン利活用の普及

- 1台のドローンを多目的で活用するマルチユースや、観光分野での可能性調査・実証を行い、成果をハンドブックとして整理
- 「第3回ドローンサミット」を国と共催し、「DRONE FIELD HOKKAIDO」としての可能性を道内外にPR

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ お問い合わせ先

経済部AI・DX推進局DX推進課

☎ 011-204-5172

📧 sogo.joho1@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業

フェイス・ワン(株)様

道

寄附によってもたらされた効果等

事業を通じてドローンの新たな活用策を提示することで、様々な分野での導入・新サービスの開発を促すとともに、一大イベントである「ドローンサミット」の内容を充実させることができました。

寄附企業

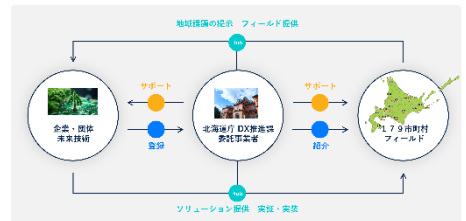
寄附の経緯・取組への期待

自社業務に関連するドローンの更なる活用と普及を期待して取組に寄附しました。寄附をきっかけに道内自治体との連携（新十津川町パノラマツアーハザードマップの作成）や自社PRに繋がっています。

地域課題解決に向けた未来技術の活用

事業概要 地域課題解決に向けた未来技術の活用推進

地域課題を抱える市町村や企業と、AIをはじめとするデジタル技術を持つ企業・スタートアップ等をマッチングし、全道179市町村の地域課題解決を図る取組を実施しています。本道の多様な実証フィールドを生かし、実証・実装の促進を通じた地域課題の解決に向けて、取り組んでいきます。



事業成果 市町村と企業のマッチング機会の提供

- 企業から市町村へ、地域課題解決に繋がる技術をピッチするイベント「UPDATE179」を開催し、市町村と企業のマッチングの機会を創出。
- 地域課題解決に繋がる企業のソリューションを分野別に整理・可視化した「ソリューションマップ」を作成し、HPで公開。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ お問い合わせ先

経済部AI・DX推進局DX推進課

☎ 011-204-5172

📧 sogo.joho1@pref.hokkaido.lg.jp

寄附企業

(株)エイチーム様、フェイス・ワン(株)様

道

寄附によってもたらされた効果等

事業を通じて、市町村と企業のマッチング支援、実証・実装を見据えた伴走支援を実施し、未来技術を活用した地域課題解決の取組を各地で進めることができました。

寄附企業

寄附の経緯・取組への期待

当社では、「ドローンを活用したDX」として、自治体向けに空撮による実写版のハザードマップや観光マップを制作しています。そのため、本事業の「デジタル技術の活用」「市町村と企業の連携」という趣旨に賛同し、今後さらに推進されることを期待して寄附しました。



エールを北のチカラに。

ほっかいどう

応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト【北海道庁版】(令和8年(2026年)4月)

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5158